

つながる、ささえる、680万

連合救援ボランティアレポート

第7号
2011年4月11日

| 1

一関特別班、無事に東京に到着 救援活動へのご奮闘おつかれさまでした！



4月7日深夜の東北地方における大きな余震のため、一関特別班が担当している気仙沼地域において、ボランティア活動できる状況ではなくなったことから（ベースキャンプも停電）、4月9日14時30分に一関特別班が東京に戻ってきました。

気仙沼を中心に甚大な被害を被った地域の救援活動、ほんとうにおつかれさまでした。活動の詳細等は改めて、じっくりレポートします。

（一関特別班の到着。古賀会長ほかが出迎え）

一関特別班の活動は終了とします。

一関特別班は、気仙沼地域の救援のため3月31日～5月1日までの1ヶ月間を活動期間としていましたが、今般の余震により、いったん活動は終了とします。よって、4月16日に予定していた後半チームの派遣も中止します。今後の気仙沼対応については、新たなベースキャンプの設置も含め、他のベースキャンプと同様の対応（実働7日間）を検討することにしています。

一関特別班へのボランティア派遣にご協力頂きました、UIゼンセン同盟、自治労、自動車総連、JAM、日教組、基幹労連、JP労組、情報労連（後半派遣予定）、サービス流通連合、電力総連、JEC連合、損保労連、連合関東ブロックのみなさん、本当に有り難うございました。

なお、仙台ベースキャンプ組の再開の時期につきましては、現在現地とのやりとりを進めているところです。4月16日出発の可否につきましては、4月13日（水）午前中にご連絡します。申し訳ありませんが、もうしばらくお待ち下さい。